

特集

介入研究をどう進めるか

介入研究の必要性とこれからの展望 西垣昌和

介入研究をどう進めていくか—自身の研究を通して 大久保暢子

介入研究デザインのポイント 奥村泰之

介入研究を実施する環境をどうマネジメントするか 竹原健二

看護のエビデンスを大規模研究から構築するために—AMED の取り組みから

関根小乃枝

【研究報告】

介護老人保健施設に勤務する看護師のアセスメント技術に関する研究 山田由紀

【連載】

英語論文を書くということ・6 余善愛

編集後記

●2011年の「現象学的研究における「方法」を問う」以来、西村ユミ氏には折に触れて特集を企画いただきました。本特集では、看護と哲学の共同から新たな学問領域が創出される可能性が展望され、新たなステージに入った感があります。西村氏に心より御礼申し上げますとともに、未来の知をこれからも紹介できたらと思っています。●本特集で三浦智美氏は、看護という営みにある根源的なことへの思考が、「看護とは何か」というテーマに通じると述べています。私は、日々研究／実践をされている方々が、「看護」という仕事をどう捉え、そして何より、なぜ「看護」という仕事を選ぶ(んだ)のか——これを看護職者ではない立場から、個別に聞いてみたいと思うことがあります。ですが、特に後者は私には非常に聞きにくい問いに思われ、どこか、触れてはいけない領域に触れる感覚があります。私だけでしょうか。もし、そうしたお話を聞く機会に恵まれたときは、現象学的な態度で、語りに耳を傾けたいと思っています。(小長谷)

看護研究 第49巻 第4号(通巻267号) 2016年7月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2016, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室：(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・早田

1部定価1,900円＋税

2016年年間購読料(税込、送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：冊子版13,025円 冊子＋電子版/個人16,265円 電子版/個人13,025円

〈学割年間購読料〉冊子版10,498円 冊子＋電子版/個人13,738円 電子版/個人10,498円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集協力者(五十音順)

阿曾洋子／井上智子
井部俊子／太田喜久子
岡谷恵子／片田範子
金井Pak 雅子／上泉和子
萱間真美／川口孝泰
河口てる子／グレッグ美鈴
黒田裕子／小松浩子
坂下玲子／真田弘美
筒井真優美／水流聡子
西村ユミ／野嶋佐由美
早川和生／舟島なをみ
正木治恵／村嶋幸代
森 恵美／安酸史子
山田雅子／山本則子

看護研究バックナンバー

vol.
49
no.
3
May
Jun

●特集 | 看護におけるシステムティックレビュー

コクランにおけるシステムティックレビューの基礎—リスク・オブ・バイアスとメタアナリシス 大田えりか
質的研究のシステムティックレビューの現状と動向—JBIの取り組みから 今野理恵

〈特別記事〉

【研究対象者に対する研究倫理を考える①】研究対象者に対する倫理的配慮の問題点 河原智江, 久保恭子, 西村ユミ
看護研究における実践に関する知識の基本的な枠組み 家高 洋

〈原著論文〉

雑誌に埋め込まれた社会的学習—小児病棟における「わざ」の伝達 川名るり

〈連載〉

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ Extra

【座談会】海外の文献から大学院生は何を学ぶのか—Journal Watchの活動を通して 深堀浩樹, 小玉淑巨, 井尻弓子, 奥村朱美, 那須佳津美, 山縣千尋

vol.
49
no.
2
Mar
Apr

●特集 | 看護学の発展にとっての理論構築—Transitions Theoryからの展望

【座談会】看護学の発展にとっての理論構築 南裕子, 片田範子, 坂下玲子

看護理論とその展開—Transitions Theoryからの考察 坂下玲子

概説 Transitions Theory / トランジション理論 増野園恵

〈Dr. Afaf I. Meleis 講演「Disruptions: Then What?」より〉

Disruptionsから始まる Transition—関連概念と理論枠組みの理解 〈訳・編集〉岡田彩子

For Future Development of Situation Specific Theories Eun-Ok Im

【翻訳】状況特定理論の将来の発展のために Eun-Ok Im, 〈翻訳〉鈴木和代

〈Dr. Eun-Ok Im の論考を受けて〉

状況特定理論はどう構築されるのか—理論構築を具体的にイメージするために 小野博史, 坂下玲子

〈Scope〉

第12回国際家族看護学会議—家族看護学の潮流を探る 法橋尚宏, 西垣佳織, 小林京子, 荒木暁子, 和田佳子, 藤井智恵美, 山口智治, 佐藤奈保, 本田順子, 大畠万里子, 鈴木智子

〈連載〉

英語論文を書くということ④ 原著論文を書く過程 余 善愛

vol.
49
no.
1
Jan
Feb

●特集 | 混合研究法が創る未来—第1回日本混合研究法学会学術大会より

〈ワークショップ1〉混合研究法入門 R. パーク・ジョンソン, マイク・D. フェターズ【編集・報告】抱井尚子

〈基調講演3〉看護における混合研究法の活用—世代間交流看護支援の研究を例に 亀井智子

〈ワークショップ3〉混合研究法としてのグラウンデッドなテキストマイニング・アプローチ 稲葉光行, 抱井尚子

〈パネルディスカッション1〉混合研究法をめぐる議論からみえてくるもの

ベンジャミン・F. クラブトリー, 抱井尚子, 亀井智子, マイク・D. フェターズ【編集・報告】八田太一

〈特別記事〉

〈看護におけるEBP構築に向けて考える①〉

エビデンスを臨床に浸透させるための試み—The Japan Centre for Evidence Based Practiceの経験をもとに

植木慎悟, 山川みやえ, 伊藤美樹子, 渡邊浩子, 牧本清子

〈看護におけるEBP構築に向けて考える②〉

システムティックレビューから何を学ぶのか—厳密なシステムティックレビューに取り組む際の視点

松中枝理子, 牧本清子

〈連載〉

英語論文を書くということ③ 文献検索の目的, 種類, 実行法 余 善愛

